

レイズドフロアー・システム 〈外部乾式上げ床工法〉

屋上やバルコニーなどの屋外空間を有効に使うための工法として、レイズドフロアー・システムは開発されました。

仕上げ高さに応じた部材(大引・根太・BB支柱)を組み合わせ、高さ調節できるようになっています。

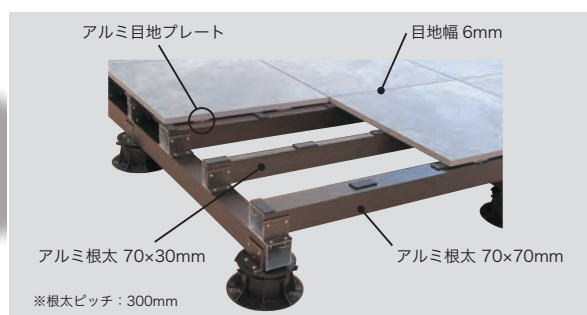
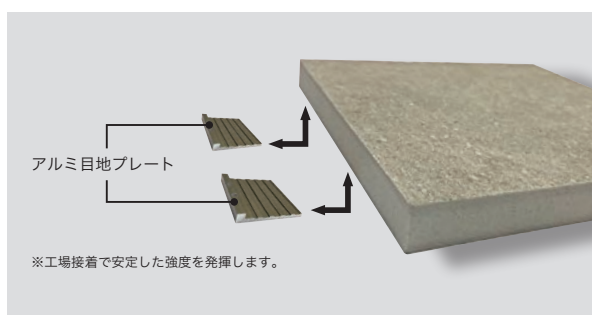
屋内と屋外の段差がなくなることで、バリアフリー化が必要とされる大型物件にも対応可能です。

20mm厚タイルに取り付けたアルミ目地プレートと根太を、ビス留めすればタイルが固定され、ビスを外せばタイルを取り外すことができるため、安全性の確保だけでなく、防水層のメンテナンスも簡単にでき、タイルも再利用(リユース)できる新工法です。

レイズドフロアー・システムの特長

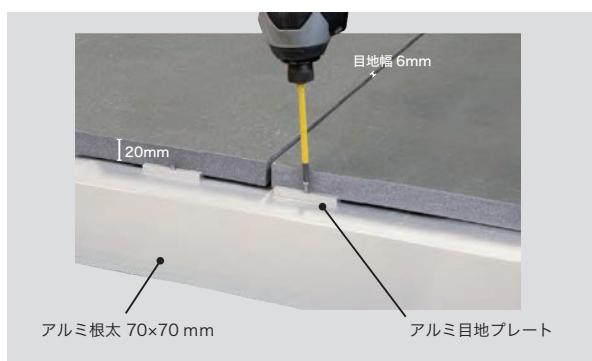
①安全性

- ・タイルに接着したアルミ目地プレートを、下地部材にドリルビスで緊結するため、地震や風圧に対して安全性の高い構造です。
 - ・強度が高い20mm厚のタイルを使用します。
 - ・タイルへの衝撃割れ防止として下地アルミ根太を300mm間隔で配置します。(600mm幅タイルの場合)
 - ・タイルとアルミ目地プレートを工場にて接着加工することで、安定した接着強度が得られます。
- ※タイルとアルミ目地プレートの引張接着強度≒37,400N/m² (メーカー試験データからの計算値)



②メンテナンス性

- ・ビス留め工法のためタイルの取り外しが容易にでき、防水層の改修工事等のメンテナンス性に優れます。
- ・取り外したタイルを再度ビス留めすることができ、リユース性に優れます。
- ・従来の接着工法と比較して、産業廃棄物が大幅に削減(リデュース)できます。



④防水層の負荷軽減

- ・大型樹脂支持材が、防水層の負荷を軽減させます。
- ・天板はステンレス板になっていますので、ビスや接着などで緊結できます。
- ・BB支柱の圧縮強度は15,000N/本です。
- ・ねじ式で高さ調節ができ、部材の組み合わせで様々な床高さに対応できます。



③雨天時の残水対策

- ・600角タイルに接着したアルミ目地プレートで1/200の傾斜をつけ、フラットな床に見える仕上げにしながら、半分以上雨水がはけるようにしました。



工法選定

防水層の種類と仕上げ高さによって必要な部材が異なります。8種類の中から最適な工法を選び施工してください。

■ アスファルト防水 押さえコンクリート仕上げ

AC-1 仕上げ高さ 60mm < h < 240mm	AC-2 仕上げ高さ 240mm < h
アルミ根太・束工法	アルミ大引・根太・束工法

■ アスファルト防水 露出ルーフィング仕上げ（断熱仕様）

AS-1 仕上げ高さ 80mm < h < 150mm	AS-2 仕上げ高さ 150mm < h < 220mm	AS-3 仕上げ高さ 220mm < h
アスファルト成形板 250 角 t=6 を接着留めして、その上にアルミ根太・束工法（防水保護樹脂マット共）	アスファルト成形板 250 角 t=6 を接着留めして、その上に BB 支柱または、アルミ大引・根太・束工法（防水保護樹脂マット共）	

■ 塗膜防水

AD-1 仕上げ高さ 70mm < h < 140mm	AD-2 仕上げ高さ 140mm < h < 210mm	AD-3 仕上げ高さ 210mm < h
アルミ根太・束工法 （防水保護樹脂マット共）	BB 支柱または、アルミ大引・根太・束工法 （防水保護樹脂マット共）	

AC-1 アルミ根太・束工法



AD-3 BB支柱 アルミ大引・根太工法



- 施工する床面が同一平面の場合、同一工法での施工を推奨します。
- 施工下地により最小施工高さが変わることがあります。
- 当工法ご検討時は、事前に営業までご相談ください。
- 当工法は施工面積が100m²以上の対応となります。100m²未満の場合はご相談ください。